院内トリアージのご案内

当院では、日本救急医学会（JTAS）の基準に基づき、患者様の緊急度を判定しています

診察の順番は「受付順」ではなく
「緊急度（重症度）順」となります

患者様に安全で適切な医療を提供するため、一刻を争う重症の方を最優先に診察いたします。
これに伴い、**後から来られた患者様を先に診察室へご案内する場合がございます。**
ご理解とご協力をお願い申し上げます。

緊急度レベルと診察までの目標時間（目安）

緊急度レベル	状態の目安（具体例）	診察までの目標時間
レベル 1 【蘇生】	意識がない、心肺停止、呼吸をしていない、重篤なショック状態など	**直ちに診察を開始します**
レベル 2 【緊急】	突然の激しい胸痛や背部痛、急な半身麻痺や言語障害、強い呼吸困難など	**15 分 以内**
レベル 3 【準緊急】	歩行困難な強い腹痛、高熱（呼吸や意識は安定）、中等度の息切れなど	**30 分 以内**
レベル 4 【低緊急】	数日前からの続く症状、比較的軽度の打撲や軽症の切り創など	60 分 以内
レベル 5 【非緊急】	緊急性のないお薬の処方希望、慢性的な症状の定期受診など	120 分 以内

受付から判定（トリアージ）までの4つのステップ

STEP 1

第一印象の確認

患者様が来院された直後に、看護師が意識や呼吸の様子、顔色などを素早く視診します。

STEP 2

主な症状の聴取

一番つらい症状（胸痛、頭痛、腹痛など）について、看護師が詳しくお話を伺います。

STEP 3

バイタル測定

血圧、脈拍、体温、酸素飽和度（SpO2）などを、医学的基準に沿って客観的に測定します。

STEP 4

総合的な緊急度判定

痛みの強さ（NRS）や受傷状況、ご年齢、既往歴を考慮し、最終的な緊急度レベルを決定します。

優先度を上げる（考慮する）項目

以下に該当する方は、通常のバイタルサインが正常範囲内であっても、優先度を上げて対応する場合があります。

- 65歳以上の高齢の患者様
- 免疫抑制剤や抗がん剤などで治療中の方

待合室でお待ちの患者様へのお願い

当日の混雑状況や、救急搬送などによる重症患者様の対応が重なった場合、目安時間を超えてお待たせすることがございます。
また、待ち時間が長くなる場合は、看護師が定期的に状態の再評価（バイタル再測定など）を行います。

- 血液透析を受けられている方
- 抗凝固薬（血液をサラサラにする薬）を服用中の方
- 妊娠中、またはその可能性のある方

※待合室でお待ちの間に、気分が悪くなったり、痛みが一段と強くなったりした場合は、決して我慢をなさらず、すぐに近くのスタッフへお申し出ください。

患者様の安全を守るための仕組みです。ご不明な点やご不安なことがございましたら、遠慮なく看護師や受付にお尋ねください。

社会福祉法人 大阪暁明館 大阪暁明館病院 外来・救急外来窓口